

新車から廃車まで

お客様さんとリサイクルをつなぐ



どんな自動車でもリサイクル料金は同じだ。
○か×か?

自動車リサイクル大国・日本の秘密を探る旅——第4回は、毎日小学生新聞のこども記者と一緒に、自動車販売店を訪ねます。車を使う人と直接会って、いろいろな話やサポートをする販売店。自動車リサイクルを支えるうえでは、どんな役割を果たしているのでしょうか?

自動車販売店を取材

東京トヨペット 芝浦店

シリーズ4回目は、埼玉県の6年生の原田真理記者、栃木県の4年生、鈴木圭樹記者、東京都の3年生、武本奈津子記者の3人が、東京都港区にある自動車販売店「東京トヨペット 芝浦店」をたずねました。



東京トヨペットのショールームには、ピカピカのクラウンが展示されました。右から、武本奈津子記者、鈴木圭樹記者、原田真理記者、東京トヨペット・芝浦店の店長

東京トヨペットは、都内に96の拠点を構える大手自動車販売会社です。出迎えてくれた鈴木さんが「新車を売るだけではなく、お客様さんから引き取った車を『中古車』として別のお客様さんに販売したり、解体業者に引き渡す

しました。自動車を売る時にリサイクルの仕組みを教えてくれました。

「2005年に自動車リサイクル法が施行されながら、自動車を処分する時にもリサイクル料金がいるようにな

りました」と鈴木さん。自動車を買う人は、購入の時にリサイクル料金を払います。

車を賣った人は、購入の時に支払った人はリサイクル券を受け取って保管します。この車を中古車として売る時には、リサイクル料金は返ります。

一方、リサイクル料金を支払った人はリサイクル券を預かっておきます。このよ



千葉県の解体業者へ運ばれていく使用済みの自動車を見せてもらいました

店長から名刺をもらい、本当に自動車を買いたいぎたみたい

自動車注文書の読み方を、店長に教えてもらいました

う人が料金を負担してリサイクル券を引き継ぐのです。

毎小こども記者 自動車リサイクルの 秘密を探る! ④自動車販売編



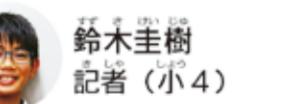
整備工場で修理や点検

ガラス張りのショールームの裏側には、何と整備工場がありました。修理や点検をこまめに行い、長く乗れる自動車にすることも大事な役割です。リフトで持ち上げられた自動車を下から見上げたこども記者からは、「わあ!」と驚きの声が。工場内で出るごみは一般ごみ、廃プラスチック類、廃金属など細かく分けられ、ここでも分別が徹底されていました。

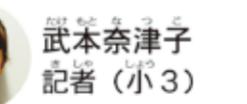
毎小こども記者の自



原田真理
記者 (小6)



鈴木圭樹
記者 (小4)



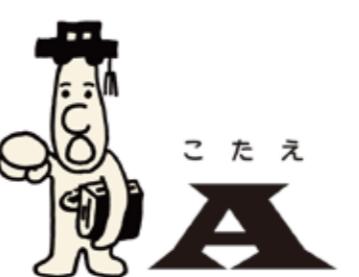
武本奈津子
記者 (小3)

自動車にも家電品と同じようリサイクル券があり、最初に買った人が負担するのかと思っていましたが、車の最後の持ち主がお金を負担するといつも分かり、勉強になりました。

リサイクル料金といふものを初めて知りました。自動車は買うときも捨てるときもお金がかかるんだと分かり、勉強になりました。

次回は
じどうしゃせいさん
自動車生産の
現場を訪ねます。

協力・一般社団法人 日本自動車販売協会連合会
公益財団法人 自動車リサイクル促進センター
Japan Automobile Recycling Promotion Center / JARC
「自動車リサイクル」を学ぶ動画が見られるよ!
<http://www.jarc.or.jp/>



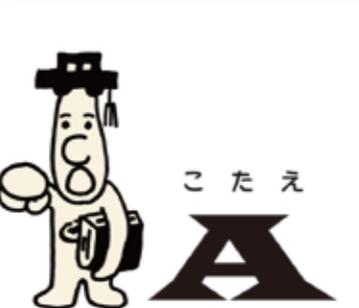
答えはX。リサイクル料金は自動車ごとに違います。リサイクルに配慮されているかどうかによって、料金に差があります。

ショールームでは、齊藤店長が「自動車によってリサイクル料金は違うんですよ」と説明してくれました。エアバッグやエアコンが付いている車、どんな素材が使われている車、リサイクルに配慮されている車によって、差があるそうです。「普通の自動車がリサイクル料金も高い、ということではないそうですが、どの自動車がリサイクル料金が高い、といふことではないそうです。どの素材を使っているかなどの情報

リサイクルがしやすいほど低額

をお客さんに伝えることも、販売店の大変な役割です。子ども記者たちは本物のリサイクル券を見せてもらいました。用紙は黄色・緑色です。一番上のA券は「預託証明書」という名前で、これが「リサイクル券」です。エアバッグやフロンの処理にいくらかかるかなどが書かれています。その下のB券は「使用済自動車引取証明書」です。車を処分するために業者が引き取ったことを証明する書類です。

リサイクル券がつながっている書類を手に取り何が書いてあるかみんなで読んでみました



答えはX。リサイクル料金は自動車ごとに違います。リサイクルに配慮されているかどうかによって、料金に差があります。

自動車販売店を取材

東京トヨペット 芝浦店

シリーズ4回目は、埼玉県の6年生の原田真理記者、栃木県の4年生、鈴木圭樹記者、東京都の3年生、武本奈津子記者の3人が、東京都港区にある自動車販売店「東京トヨペット 芝浦店」をたずねました。



東京トヨペットのショールームには、ピカピカのクラウンが展示されました。右から、武本奈津子記者、鈴木圭樹記者、原田真理記者、東京トヨペット・芝浦店の店長

東京トヨペットは、都内に96の拠点を構える大手自動車販売会社です。出迎えてくれた鈴木さんが「新車を売るだけではなく、お客様さんから引き取った車を『中古車』として別のお客様さんに販売したり、解体業者に引き渡す

しました。自動車を売る時にリサイクルの仕組みを教えてくれました。

「2005年に自動車リサイクル法が施行されながら、自動車を処分する時にもリサイクル料金がいるようにな

りました」と鈴木さん。自動車を買う人は、購入の時にリサイクル料金を払います。



千葉県の解体業者へ運ばれていく使用済みの自動車を見せてもらいました

店長から名刺をもらい、本当に自動車を買いたいぎたみたい

自動車注文書の読み方を、店長に教えてもらいました

う人が料金を負担してリサイクル券を引き継ぐのです。

ショールームでは、齊藤店長が「自動車によってリサイクル料金は違うんですよ」と説明してくれました。エアバッグやエアコンが付いている車、どんな素材が使われている車によって、差があるそうです。「普通の自動車がリサイクル料金も高い、といふことではないそうです。どの素材を使っているかなどの情報

リサイクルがしやすいほど低額

をお客さんに伝えることも、販売店の大変な役割です。子ども記者たちは本物のリサイクル券を見せてもらいました。用紙は黄色・緑色です。一番上のA券は「預託証明書」という名前で、これが「リサイクル券」です。エアバッグやフロンの処理にいくらかかるかなどが書かれています。その下のB券は「使用済自動車引取証明書」です。車を処分するために業者が引き取ったことを証明する書類です。

リサイクル券がつながっている書類を手に取り何が書いてあるかみんなで読んでみました

黄緑色です。一番上のA券は「預託証明書」という名前で、これが「リサイクル券」です。エアバッグやフロンの処理にいくらかかるかなどが書かれています。その下のB券は「使用済自動車引取証明書」です。車を処分するために業者が引き取ったことを証明する書類です。

答えはX。リサイクル料金は自動車ごとに違います。リサイクルに配慮されているかどうかによって、料金に差があります。

ショールームでは、齊藤店長が「自動車によってリサイクル料金は違うんですよ」と説明してくれました。エアバッグやエアコンが付いている車、どんな素材が使われている車によって、差があるそうです。「普通の自動車がリサイクル料金も高い、といふことではないそうです。どの素材を使っているかなどの情報

リサイクルがしやすいほど低額

をお客さんに伝えることも、販売店の大変な役割です。子ども記者たちは本物のリサイクル券を見せてもらいました。用紙は黄色・緑色です。一番上のA券は「預託証明書」という名前で、これが「リサイクル券」です。エアバッグやフロンの処理にいくらかかるかなどが書かれています。その下のB券は「使用済自動車引取証明書」です。車を処分するために業者が引き取ったことを証明する書類です。

リサイクル券がつながっている書類を手に取り何が書いてあるかみんなで読んでみました

黄緑色です。一番上のA券は「預託証明書」という名前で、これが「リサイクル券」です。エアバッグやフロンの処理にいくらかかるかなどが書かれています。その下のB券は「使用済自動車引取証明書」です。車を処分するために業者が引き取ったことを証明する書類です。

答えはX。リサイクル料金は自動車ごとに違います。リサイクルに配慮されているかどうかによって、料金に差があります。